



うらまち散歩で松本の生産現場が見えてくる？

URANO MAMA

VOL.
07

2023 APRIL



上:ピカピカの「真紅の美鈴」
 下:真紅の美鈴パフェ(右)パフェは上から、苺、苺アイスクリーム、自家製クリームパティシエール、自家製苺グラノーラ、生クリーム、苺ソースが層になっている。甘さは控えめで意外とさっぱりした味わい。苺ソーダ(左)は最後まで苺をたのしんで欲しいから、と凍った苺がトッピングされている。
 左:苺のワッフルセットは温かい苺ソースをかけていただく。

店主の柳澤歩さんのもと「三才山農園なかや」を営む、苺の生産者。2022年11月こころまちにお店を開いてからも、苺の生産と取引は変わらず続いている。午前中に農園の仕事を終えてからお店に駆けつけている。

苺の取引先は直接営業して繋がりを得た取引先ばかりで、首都圏などに多い。松本市内にも取引先はあるけれど、地元の人に苺をおすすめすることが出来る機会がすくなく感じていた。いくつか店を持つことができたなら。との想いがあった。チーズケーキの「むに。」さんと友人で、お店を閉めると聞き、内装や家具もほとんどそのまま引き継いだ。

お店で提供するのには、苺レアチーズケーキ、苺タルト、苺パフェ、苺を使っ

たドリンクなど苺づくしだ。店頭では苺のパック、乾燥苺などの加工品も販売している。ケーキ類の持ち帰りやドリンクのテイクアウトもできる。

「真紅の美鈴」は甘みのはっきりとした黒苺。人気の希少品種で、これを使用したパフェが目玉商品。

パフェに使用するグラノーラやクリームは自家製、アイスの製造や米粉のワッフルは周辺で店を営む仲間に依頼するなど、食の安全や地産地消にも気を使ったメニュー構成だ。

6月頃からは夏秋苺に入れ替わるが、お店は通年オープンし、今後は苺を使ったパスタやサラダなどのランチメニューも開発したいと語ってくれた。

Antares

営業時間 11:00~17:00
 日曜日定休、不定休あり
 TEL. 0263-75-7251
 松本市大手5丁目7-18





創業は明治の始め頃だという。最初はどうん屋だか食堂として商売が始まったというので驚きだ。とはいえ一代目の時代にすでに竹を扱う商いに切り替えたそう。

ほんのひと昔前まで竹製品は日常のあらゆる場面で使っていた生活必需品だった。衣類をしまう行李、台所で使うざるはもちろん、農作業や土木作業でも籠や熊手、箕など竹でできたものを使っていた。

上原善平商店さんでは、地元職人から仕入れて販売するだけでなく、2〜3人の職人を抱え、

店から道を挟んだ敷地で竹を加工して生産もしていたそう。今も、名刺には「竹製品の製造販売」と書かれている。

ここ数十年で竹製品は必需品から趣味の品、一部のこだわりのある人が求める物に変わったため、職人も減ってしまった。地元の竹細工であるみずび細工の職人もいなくなってしまうと、現在は北信の根曲竹の品や藤製品、九州の竹製品などを主に仕入れて販売している。

様々な竹製品を手にして見ることが出来る、松本の昔ながらの暮らしに思いを馳せることのできる名店だ。



上原善平商店

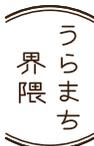
営業時間 10:00~17:00

店主の友子さんが体調を崩しているため、

しばらくの間 土日祝のみの営業

TEL.0263-32-0144

松本市大手4-5-5



私のうらまち 1970年代～



南澤 安子さん

ご夫婦で裏町で「更級屋」を営んだ。
現在、更級ビル所有者

波田の生まれ。正行寺の隣にあった「イトウ製菓」に働きに来ていて、夫と出会い、結婚しました。

昭和48年に開店。はじめの頃は焼き鳥や釜飯を作ってお出しする食堂でした。当時の裏町は賑やかで接待の後の二次会、三次会でいらつしやるかたも多かったのですが、12時過ぎの方が忙しくなりました。すぐ隣には松本タクシーがあつたので、タクシー待ちの客や運転手さんもよく来てくれました。途中から、二階に宴会場を作つて、芸者さんや呼んだりもできるようにしました。料理を盛った皿をいっぱいにしたお盆を抱えて階段を上り下りして、子育てもしながら本当によく頑張りました。平成元年にビルを建てました。ビルにしているから30年間お店を営業しましたが、最後のころはほとんど無尽の集まりが主でした。無尽にも色々ありますが、みんなで会費を出し合つて、定期的に呑んだり、物入りの会員が居れば会費からお金の融通をしたり、カラオケの会だったり。

夫は何かという魚長さんや林さんと呑んでは、裏町の商店組合の松栄会のことなどをあれこれとやっています。裏町の三羽がらすと呼ばれたりしていました。松栄会が多い時では二百五十軒も登録されていたようです。賑やかで勢いのある時代だったと思いますが、振り返っても何したか覚えていないくらい。本当にあつたという間にすぎた四十年でした。

TAKE FREE | ご自由にお持ちください

魚万汲田
大貫青果店
塩屋小路
恵光院
コトブキ薬局
奥平医院
toiet
けんしん
浜千鳥
うら町 BASE
Shisha Bar Hanazato
ナベリン
off
たまき
パプテスト協会
feel at home
青華山
まるにし
正行寺
茶房侘助
正一位 天日稲荷大明神社
ニューダンシンク
宇宙堂
はなれ
満
ニチカ
山勢 藤林屋
Doon 食堂 印度山
酒と雪
ふもと
ちから
川佳
ワンジュ
thumbs up
蔵音
おいでやす
ひぶき
木曾屋
上原善平商店
Kawazoe
和花
女鳥羽川
東家
豆まめ
give me little more.
三代食堂

凡例
 食事処・レストラン(昼)
 食事処・レストラン(夜)
 食事処・レストラン(昼・夜)
 居酒屋
 スナック
 喫茶・カフェ
 物販
 スイーツ
 湧水・井戸
 その他

店名末尾に★マークのあるお店は、本紙配布店です



うらまちを通じ松本の街を見直し、松本がもっと楽しくなる。
当マップ配布に協力してくれる店、施設リスト

- ① ベラミ人形店 ② salon as salon ③ cafe chiiann ④ 菜日
- ⑤ フランス惣菜 ルニ ⑥ 横山薬局 ⑦ カモシカスタンド ⑧ ゲストハウス tabi-shiro
- ⑨ そればな ⑩ books電線の鳥 ⑪ 三代澤酒店 ⑫ たい焼きふるさと
- ⑬ 飯田屋路店 ⑭ something tender ⑮ ガルガ ⑯ てまりや ⑰ Plaire
- ⑱ Oldies B Goodies ⑲ 長野銀行大名町支店 ⑳ ノセメガネ上土本店
- ㉑ café noyie

旅館すぎもと(松本市美ヶ原温泉) CreperieMonkava(松本市島内)
本・中川(松本市元町) 華陽麵坊(松本市元町)
オートプラザ諏訪(諏訪市) 松本マツダオート(松本市平田)

配布にご協力いただける店、施設募集中です。



かつて松本で一番の繁華街だった“うらまち”は時代の波に取り残され、ひっそりと佇んでいる。そこで店舗や地元のみなさんの協力のもと、町の魅力を発信しつつ、エンターテインメントなど、新たなアプローチで活気を取り戻そう！というプロジェクト。2022年度も、お芝居の公演や空き店舗の紹介、歴史ワークショップなど、うらまちを舞台に様々な企画を計画中。

<https://note.com/uramicstreet>



Follow us ! @ura_no_mama

Instagramアカウントでは、プロジェクト関連のお知らせの他、新規発刊のお知らせ、配布店の紹介、本誌紙面に掲載しきれなかった取材写真のご紹介などをしていきます。



うらまちと周辺のお店をGoogle Mapで見れます。

<https://qr.paps.jp/vtZFM>

